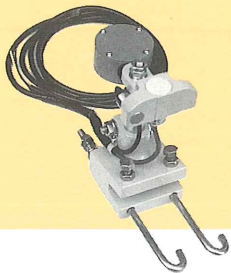




# 列車接近警報器 (磁気検知式)

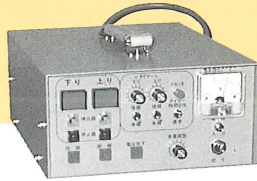
## HTK-3NA型・HTK-3NB型 (中・長期設置用)



検知器



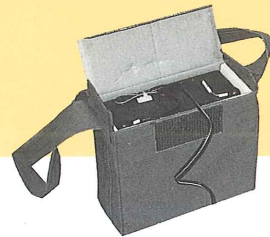
スピーカー



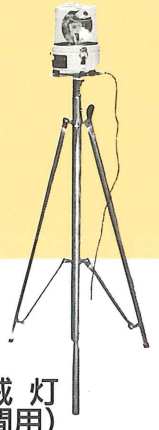
制御盤  
(警報器本体)



充電器



蓄電池箱



警戒灯  
(夜間用)

### 概要

本器は軌道附近の現場作業場に列車の接近を通報するもので、制御盤と検知器はリード線で接続され、車両が検知器取付上部を通過すると、制御盤に列車進行方向を示すランプが点灯し、同時に制御盤に接続されたスピーカーより警報音を発するもので本器種は中長期工事に適します。

HTK-3NA型 警報の鳴動開始、鳴動停止共検知器を使用します。

HTK-3NB型 警報の鳴動開始は検知器を使用し、鳴動停止は制御盤内のタイマーで行います。

3NA型、3NB型共各機器の構造、機能は同じで共用できますが、検知器の使用数が異なります。(下表参照)

### 特長

1. 検知器の応用範囲を広くする場合は3NA型を、軌道構成が単純で列車通過頻度の少ない場合には3NB型が適しております。
2. 検知器をレールに取付けますが信号回路への障害は全くありません。また37K~60Kレールに取付けられ、軽量にできております。
3. 検知器はスパナ1本で簡単に取付けられ、バネ式なの

でネコ車に踏まれても元に戻り正確に作動を回復します。

4. 単線、複線の切換はスイッチ1つで使用でき、停電の場合は蓄電池が作動します。

5. リード線の断線、短絡、電圧低下、検知器脱落等各部構成部品に支障が生じた時は、故障音と表示灯により之を知らせます。

6. 警報音と警戒灯の外部出力端子があり、夜間作業等では警戒灯に交換して無騒音警報器として使用できます。

### 機能

1. 検知器 (磁気式)
  - (イ) 感知距離 10mm
  - (ロ) 消費電力 DC0.2W
  - (ハ) 電圧範囲 10~13.5V
  - (ニ) 対応温度 -25℃~+70℃
2. 蓄電池(密閉型充電式) 12V17A
3. 制御盤(スピーカー付)
  - (イ) 警報時間  
3NA型一鳴止検知器通過迄

#### 3NB型一タイマー設定 (ダイヤル式)

(標準で8秒~60秒迄可変と更に8倍迄延長設定可能)

- (ロ) 警報 電子音(上り下り別、2警音、故障警音、1警音)
- (ハ) 単線使用時の上り下り待機は自動切替
- (ニ) 消費電力
 

|     | AC  | DC    |
|-----|-----|-------|
| 待機  | 13W | 2.2W  |
| 動作時 | 25W | 12.0W |
- (ホ) スピーカー音量 120ホーン迄可変
- (ヘ) 寸法・重量 巾210×高130×奥行290 3kg

### 構成

| 品名   | 数量         |      | 備考                                  |
|------|------------|------|-------------------------------------|
|      | 3NA型       | 3NB型 |                                     |
| 標準構成 | 検知器(接近検知用) | 2組   | 上り、下り、各1組(脱落センサー付)                  |
|      | 検知器(警報鳴止用) | 2組   | 上り、下り、各1組(脱落センサー付)                  |
|      | 制御盤        | 1組   | スピーカー 1個付                           |
|      | 蓄電池箱       | 2個   | AC電源のない場所、AC電源があっても停電時の予備用として使用する場合 |
|      | 充電器        | 1個   |                                     |
| 別扱品  | 警戒灯(脚付)    |      | 夜間無騒音警報に使用                          |

※別途見積品 1. リード線及び取付け機材 2. 取付工事費

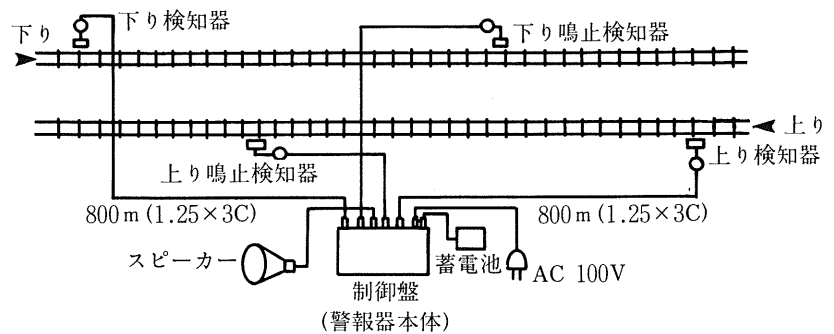
## 標準使用例

### 1. HTK-3NA型 (複線の場合)

警報器本体の単線、複線切換スイッチを複線側に切換えて置きます。

上り、下り検知器がそれぞれ列車接近を感知しますと、警報器が警報音を発して列車が鳴止検知器に到達するまで鳴動します。

上り、下り鳴止検知器が、それぞれ列車通過を感知しますと警報音は停止します。



### 2. HTK-3NA型 (単線の場合)

警報器本体の単線、複線切換スイッチを単線側に切換えます。

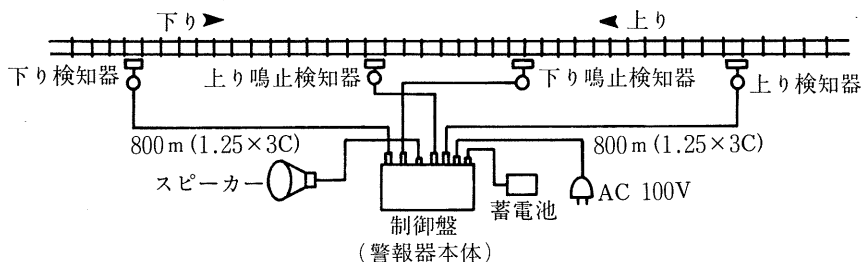
(イ)上り検知器が列車接近を感知した場合

上り側の警報音が鳴動し、上り鳴止検知器を通過すると鳴動を停止します。更に反対側の下り検知器を通過

すると今度は自動的に上り下り側の検知待機の状態に切換えます。

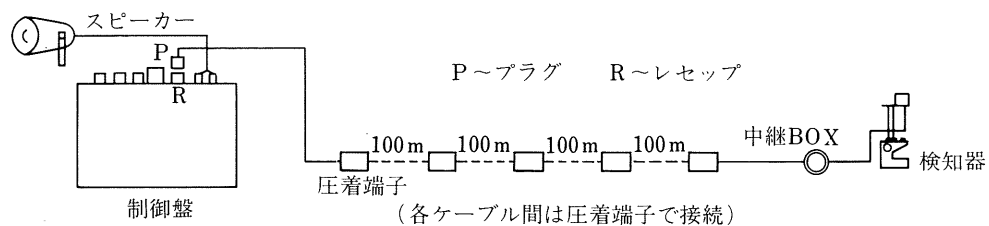
(ロ)下り検知器が列車接近を感知した場合

(イ)と逆の作動になります。



### 3. HTK-3NB型の場合は複線、単線ともに制御盤に警報時間のタイマー設定を行います。

### 4. ケーブルの結線



中短期の御使用の場合は、各ケーブル間の接続が差込式(防水コネクター付)のケーブル(100m巻)もあります。

## 特殊使用例

1. 広範囲に亘る作業現場等において、スピーカーを軌道沿線に数個(任意の数量)取付け、検知器上部を列車が通過すると同時に制御盤、アンプを経て、すべてのスピーカーを一斉に鳴動させることが出来、長区間使用の場合とか、頻りに列車が通過するような所に使用することが出来ます。
2. マイクロホーンをアンプ接続して使用しますと、スピーカーを通して沿線の作業員等に呼出し、命令、指揮、指示等を徹底することが出来ます。マイクロホーン使用中に、列車が進出し検知器上部を通過した場合は、警報

- 音が優先して、音声が消え警報音が鳴動します。
3. 列車接近検知をより確実にするため、「2極同時検知器」を使用してレール左右(レール軌間外対象の位置)二重に取付けることが出来ます。又、2極同時検知ボックスを追加することにより従来の鳴動、鳴止り共用の検知器を使用することも出来ます。
4. 単線で検知器間にホームを狭んだ場合など、方向性検知器使用により一方向のみ検知させることが出来ます。
5. 前各項は内容に応じ別途御見積申し上げます。



株式会社 原田製作所

本社 〒132 東京都江戸川区松島1-36-2  
 N T T TEL.03(3655)6165(代)FAX.03(3655)6766  
 J R TEL・FAX. (057)2229  
 代理店 旭川・札幌・秋田・仙台・新潟・水戸  
 長野・名古屋・大阪・岡山・広島・四国  
 門司・熊本・大分・鹿児島

地区代理店